

患者の皆様へ

2021年1月16日 呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、「画像検査による新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症度および予後予測モデルの構築」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2020年から2021年に千葉市立青葉病院で上記の診断や治療を受けた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などが何のために、どのように使われているかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

画像検査による新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症度および予後予測モデルの構築

2. 研究の意義・目的

千葉市立青葉病院で加療された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者さんの検査画像を用い、画像解析を行い、得られた画像特徴量と臨床項目との関連を検討し、重症度や予後を予測するモデルの構築を目指します

3. 研究の方法

千葉市立青葉病院で加療された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者さんの胸部レントゲン画像、胸部CT検査画像を用い、コンピューターによる画像解析を行います。解析から得られた画像の特徴と、血液検査などほかの臨床項目との関連を検討します。肺炎の重症度や予後を予測するプログラムを作成します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化し、外部に洩れることのないよう厳重に管理します。研究成果の発表にあたって、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器内科 医師 川田奈緒子

043（222）7171 内線 6300